

杉並区長寿応援ファンド助成活動報告書(平成27年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 多世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	障害者のための成年後見制度普及啓蒙事業		
団体名	特定非営利活動法人 一休会 (平成 24 年 2 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	3,632,837 円		
助成額(当初交付)	321,000 円	助成額(決算)	321,000 円
活動目的	認知症高齢者や知的・精神障害を抱える障害者等が安心して地域で暮らすためには成年後見人制度の活用が欠かせない。成年後見制度に対する認識度は高まりつつあるが、障害者に対する後見人のなり手がまだまだ少なく、活用が十分とはいえない。一般区民や高齢者・要介護高齢者の家族、障害者本人、障害者家族等へ、映画会や研修(出前講座)等の開催を通し、制度の理解や利用啓発を図り、誰もが住みやすいまちづくりに貢献する。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>1. 映画会&(原作者兼主演俳優による)講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成27年8月29日(土) 13時~17時 ・会場 スタジオK(高円寺) ・参加者 杉並区民を中心に80名、スタッフ6名 ・映画「くちづけ」 (内容) 知的障害者のためのグループホーム、そこで暮らす知的障害者の青年と同じく知的障害を持つ娘とその父親。ある日、その父親が末期がんに罹っていることがわかり…。【親なき後問題を考える】 ・講演者 宅間 孝行(原作者、俳優) (講演内容) この作品(本・芝居・映画)を創るキッカケについて、演ずるにあたり行なった事、障害者に対する見方、理解 <p>2. 研修(出前講座)</p> <p>①テーマ「障がい者と年金について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成27年12月12日(土) 13時30分~15時30分 ・会場 高円寺障害者交流会館 ・参加者 杉並区民40名、スタッフ6名 ・講師 音川 敏枝(社会保険労務士・フィナンシャルプランナー・社会福祉士) (講義内容) 年金制度は複雑なものではあるが、自ら手続きをしなければならぬと受益を得ることができない。億劫がらずに、書類が来たら、年金事務所へ出向き、確実に手続きを行うことが重要(後見人にとっても極めて大事な事) <p>②テーマ「相続と遺言について(成年後見制度利用も含めて)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成28年3月5日(土) 13時~16時 ・参加者 杉並区民50名 スタッフ5名 ・講師 小関 研太郎(司法書士) (講義内容) 平成27年の相続税の改正を踏まえ、相続と遺言について解説し、あわせ成年後見制度や親族が亡くなった場合に留意すべきポイントを具体的事例を通し説明。 <p>3. 相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成27年5月から 第4木曜日 10時30分~12時 ・会場 ケアラーズカフェinまちのたすけあいセンター(梅里) ・参加者 相談希望者(5月~2月 延べ12名) (内容) 後見を中心として関連する相談 一休会の会員2名で対応

活動名	障害者のための成年後見制度普及啓蒙事業
-----	---------------------

2 実施活動の効果・成果

* 長寿応援ファンド助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>映画会(「くちづけ」)&講演会は、劇場公開されてから日が浅いこと、講師として原作者でもある宅間(俳優)氏にお願いしたこと、加えて宅間氏のスケジュールの都合上、日程が高円寺阿波踊りと重なり、会場も高円寺障害者交流館が利用できず、一般のスタジオを借用するなど、例年に比べかなりの費用が嵩むこととなった。長寿応援ファンド助成を受けていたことから、何とか費用捻出ができ、開催することができた。評判の高い映画であったこと、宅間氏の知名度もあり、多くの参加者を得ることができた。これにより、一休会の活動に対する理解が深まったと考えている。</p> <p>また、映画会&講演会及びこの後の開催した研修(出前講座)の情宣のため、区内の施設(ゆうゆう館やケア24、障害者関連施設等)にチラシを置かせてもらう際にも、長寿応援ファンド助成を受けていることでスムーズにお願いでき、一休会の知名度浸透に効果があったと思われる。</p>
-------	---

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>一休会の活動も5年目を迎え、それなりの知名度は出てきていると思われます。映画会や研修(出前講座)といったイベントのみが注目されるのではなく、毎月行なっている相談会の認知度が上がり、住みやすいまちづくりの一助となるよう、今後も活動を続けて行く。ただ、現行スタッフ(会員)は、別に仕事を抱えながら活動を行なっているため、新たな活動できるスタッフ(会員)の確保が課題と考えている。</p> <p>引き続き、区民に障がい者やその家族が抱える悩みに対する理解と一休会の活動を知っていただくために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画会&講演会の開催 ・ケアラーズカフェinまちのたすけあいセンターでの相談会の充実 ・障害者雇用と後見制度の兼ね合いに関するアンケート調査等 <p>等を考えている。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳	
収入	長寿応援ファンド助成金	321,000	321,000	
	団体負担金	450,000	200,637	会費(27年分198,000 28年分8,000 の内から支出)
	活動収入	1,800,000	3,111,000	法人後見報酬(27年分2,204,000 28年分907,000)
	その他の収入	100	200	利息
	計	2,571,100	3,632,837	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	障害者のための成年後見制度普及啓蒙事業
-----	---------------------

※長寿応援ファンド活動助成対象事業に関わる支出

費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
			うち 助成額	
謝礼金等	1,690,000	2,520,300	120,000	※映画上映時講演料(俳優) ¥91,800 ※研修講師料(12/12) ¥30,000 ※研修講師料(3/5) ¥30,000 後見業務委託費(27年28年 ¥2,368,500)
消耗品費	50,000	6,221		※映画会&講演会(8/29)用文房具 ¥756 ※研修会用文房具(12/12) ¥1188 ※研修会用文房具(3/5) ¥666 USB他 ¥3,611
旅費 ・交通費	130,000	52,745		
印刷費	106,000	64,363	46,000	※映画会&講演会(8/29)印刷費 ¥20,908 ※研修会(12/12)印刷費 ¥8,647 ※研修会(3/5)印刷費 ¥7,293 ※ラベルタックシール ¥5,095 ※インクカートリッジ代 ¥5,140 名刺印刷代 ¥17,280
通信運搬費	105,000	183,770	55,000	※映画会&講演会(8/29)関係郵送費 ¥28,150 ※研修会(12/12)関係郵送費 ¥19,317 ※研修会(3/5)関係郵送費 ¥22,208 電話代 ¥69,857; ドメイン代 ¥27,572 運営関係郵送費 ¥16,666
使用料・賃借料	511,055	560,477	100,000	※映画賃借料 ¥108,200 ※映画会場賃料(8/29) ¥75,924 ※研修会会場賃料(3/5) ¥700 事務所賃料 ¥375,153 総会会場費 ¥500
備品費	14,045	33,264		電話機 ¥22,464 キャビネット ¥10,800
その他の経費	110,000	211,697		HP制作費 ¥76,110; HPメンテナンス代 ¥80,324 後見関係謄本代等 ¥22,707; 後見関係保険料 ¥6,987 振込み手数料他 ¥5,569 東京都肢体不自由児者新年会会費 ¥20,000(27年、28年)
計	2,716,100	3,632,837		執行率 (決算額/予算額) 133.8%
			うち 助成額 321,000	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 映画&講演会では、映画の後の原作者(俳優)の講演がとても好評で、障害者を取り巻く社会環境や家族の悩みについての理解が深まったとの感想や意見が多く寄せられた。更にその後の研修(出前講座)では、制度改定を踏まえたタイムリーな企画で、具体的な事例を織り交ぜた内容で大変参考になったとの評価をいただいている。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗か。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 事後のアンケートでは、テーマの選び方がタイムリーだとか具体的な事例を交えての講義を評価される声も多く寄せられ、賛助会員になっていただいた人も有り、一休会の活動に対する理解も少しづつではあるが広がっていると感じた。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	障がいやテーマにした映画会や研修を行なうことで、障害者及び障害者の家族が抱える悩み、取り巻く社会環境に対する理解を深めることができたと考えている。区民の理解が深まることにより障害者が安心して暮らせるまちづくりにつながっていくと考えている。
問7 ファンド助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
チラシに長寿応援ファンド助成のマークやその旨を記載する事により、一休会の活動に対する信頼度が増したと考えている。	
その他	問8 自由意見

杉並区長寿応援ファンド助成活動報告書(平成27年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input checked="" type="checkbox"/> 多世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	「大原さんち」を地域の拠点に！プロジェクト		
団体名	NPO法人コモンズ・ファーム (平成 25 年 8 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	円		
助成額(当初交付)	1,577,000 円	助成額(決算)	円
活動目的	2014年4月から作家の大原富枝(故人)の旧宅を管理している高知県本山町から地域の医療生協が借用して、だれでも気軽に立ち寄れるたまり場を目指してスタートした「大原さんち」ですが、なかなか利用がのびませんでした。しかし、都内23区に立地し、昭和の香り漂う日本家屋の一軒家。台所もあり、食事も可能。もてるポテンシャルは大きく利用した方からは絶賛される、という利用現状ともてるポテンシャルのギャップ。これを埋めるために認知度と信頼度のアップを目的に助成金を申請し、活動をつづけました。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>昨年までは週に1回程度しか利用されていなかった「大原さんち」を5月から3月の11か月で64回あけることができ、650名の方に利用していただくことができました。「すぎなみ大原塾」・・・各界で活躍する方をお呼びしてお話を聞きするミニ講演会。「起業セミナー」・・・日本各地でセミナーを開催し実績のある公益社団法人 日本サードセクター経営者協会の協力のもと開催する女性の社会参画をめざしたセミナー。多様なテーマを設定し、生協パルシステム東京の広報媒体を活用することで当初の目的である多世代の参加を得ることができました。「大原富枝読書会」・・・大原富枝さんが遺した場所で開催する文学を堪能する企画。短歌教室として開催。広報すぎなみに掲載した会はたくさんの方にご参加いただきました。大原富枝さんのファンの方も「杉並にある、と聞いていたご自宅に来ることができた」と好評でした。「リブライズ」・・・大原さんちに所蔵される書籍の貸し出し。リブライズとしては未着手だが、絵本の貸し出しは実施。小さい子どもをもつ方のイベントリピート率向上に役立ちました。「バザール」・・・地域の福祉作業所の手作り品の販売。近くの作業所で作られる「さをり織」を中心に販売。施設の職員の方も販売員として参加していただいたので施設の様子なども参加者に伝えることができました。「遠足」・・・実施せず。「ふくしま 手づくりマルシェカフェ」・・・震災後立ち上げ現地で被災者の支援活動を行っている社団法人 手づくりマルシェ 協力のもと福島のお話を聞きながらスイーツを味わうカフェ。「お話し会」・・・講師を呼ばず集まった人でテーマにあった会話を楽しむ会。「季節の食事会」・・・季節にあわせて食事を楽しむ会。各イベントの参加者に周知し交流が生まれました。「手芸サークル」・・・地域の方と講師に招き手芸などを楽しむ会。実施状況は別紙</p>
------------------	--

活動名	「大原さんち」を地域の拠点に！プロジェクト
-----	-----------------------

2 実施活動の効果・成果

* 長寿応援ファンド助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>・女流作家大原富枝さんが苦勞して遺した「大原さんち」。ただ集うだけではなく「学び」「働く」「仕事をつくる」場になることを願って活動を進めました。</p> <p>・助成金を受けて使いやすい場としての整備が進みました。</p> <p>・ホワイトボード、会議用の机などの設置で会議としての活用もしやすくなったので他団体の利用もすすみ「大原さんち」が開かれる機会が増えました。</p> <p>・頻繁に「大原さんち」がオープンしていることで近隣の方にその存在が知られるようになってきました。</p> <p>・塀に「チラシ入れ」を設置してから問い合わせも増えました。</p> <p>・以前から和田で活動し、「大原さんち」に興味をもっていた団体とつながりができ「大原塾」やセミナーの運営に関わっていただきました。</p> <p>・地域密着の活動と「大原さんち」がつながることができました。</p> <p>・絵本やおもちゃがあることで小さいお子さん連れの方が安心して企画に参加していただきました。</p> <p>・参加者のロコミの力を感しました。</p> <p>・事業開始当初は参加者を集めるのに苦勞しましたが、後半関わる人が増えてからは別会場が必要なほど参加者が集まり、地域の力を実感しました。</p> <p>開設から4年目となる「大原さんち」これまで週に1回しか開かれず、周囲の方からの認知度も低かった「大原さんち」。今回の助成金事業でようやく近隣の方にも認められ企画に参加して下さるようになりました。また、もともと和田で活動していた団体のメンバーも何回も大原さんちに足を運び、助成金事業の運営にも携わってくださり、団体としての利用へとつながりそうです。地域に開かれた場所がある、ということの重要性を関係者全員が感じているところです。定期的に利用する団体も増えていきます。事業も目的である認知度と信頼度のアップは確実にあげることができたと感じています。</p>
-------	---

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常駐している職員がいないので、鍵の受け渡しや今回実施できなかった「リブライズ(図書の貸し出し)」などの不便がある。 ・小さな集まりには最適だが、30人以上となるとかなり手狭になってしまう。 <p>活動予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に使う団体がいくつかできてきたので、団体協議会のような形が必要になりそうです。 ・新しく参加してくれた人と新しいイベントを計画しています。 ・イベント以外の利用法、会議や茶話会などの利用ルールを整えています。

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	長寿応援ファンド助成金	1,667,000	1,416,872
	団体負担金	80,000	
	活動収入	215,000	
	その他の収入		
	計	1,962,000	1,416,872

活動名	「大原さんち」を地域の拠点に！プロジェクト
-----	-----------------------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等	665,000	685,000	講師謝金36回分他
			うち 助成額 665,000	
	消耗品費	313,000	154,330	ホワイトボード、工具、家電ラック、プリンター、食器、メッセージボード、文房具など 購入額の大きかった会議用デールの領収書を紛失してしまったため予算額に満たなかった。
			うち 助成額 233,000	
	旅費・交通費	150,000	165,120	遠方からの講師4名分の旅費・スタッフ旅費・荷物をはこぶためのタクシー利用
			うち 助成額 150,000	
	印刷費	50,000	34,219	資料などのコピー代、チラシ印刷代。チラシを安く印刷する方法が見つかったので。
			うち 助成額 50,000	
	通信運搬費	118,000	64,831	チラシを郵送するとき、一定量を超えたときはレターパックの方が安くなるのでそれを利用したため安く済ませることができた。
うち 助成額 118,000				
使用料・賃借料	360,000	129,000	「大原さんち」を運営管理している西部保健生協の組合員(会員)が企画したイベントの時には特別価格(1000円)で使用できたため誤差が生じた。	
		うち 助成額 145,000		
備品費	306,000	184,372	パソコン、オープン、パソコン。パソコンが安かった。	
		うち 助成額 216,000		
その他の経費				
計	1,962,000	1,416,872	執行率 (決算額/予算額) 72.2%	
		うち 助成額 1,577,000	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

活動名	「大原さんち」を地域の拠点に！プロジェクト
-----	-----------------------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input checked="" type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 大原さんちを周知するために様々なイベントを企画し、広報し、実施することができた。そのため、これまで周知が進み、大原さんちの活用が進んだ。地域で活動する団体とのつながりもでき、地域の活動拠点となりつつある。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗か。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input checked="" type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 特にお子さん連れの参加者の方から「参加しやすい」「とてもいい場所」「また来たい」「うちの子は初めてこんな大勢と食事をするのができた」「都内でこんな庭付きの一軒家で過ごすことができるなんて思わなかった。「子どもを見てもらったので安心してお話を聞くことができた」「田舎のおばあちゃんの家に来たようだ」「リラックスする」と多くの声をいただきました。実際にイベント終了後も長い時間「大原さんち」を楽しむ方が大勢いました。小児医療の活動を続けている団体の方々から、近くにこんないいところがあったのだ、と喜んでいただいています。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	・「大原さんち」を多くの方に知っていただいた。・これまで高かった敷居を低くして実際に「大原さんち」に足を踏み入れる人を各段に増やした。・「大原さんち」という場があることを認識していただくことでこれまで活動していた団体の活動に貢献することができた。・いままでも地域活動と無縁で関心がなかった方に参加していただくことでそれぞれの団体の活動内容を知っていただくことができた。・「場」ができることで各団体の活動に貢献することができた。・各団体の活動が広がることで「大原さんち」だけでは果たせないさまざまな社会課題を解決することに貢献できた。
問7 ファンド助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
広報すぎなみに記事をのせていただいたことは大きな効果がありました。実際の企画の参加以外にも「広報にのっていた」ということが大きな信頼につながったと感じています。またイベントの回数が多くできたので生協パルシステムの広報にも頻繁に記事を掲載することとなり、そのことも「大原さんち」の周知に役立ったと感じています。いろいろな媒体で「大原さんち」が出ることで1年かけて本当に認知度があがっていったと実感しています。	
その他	問8 自由意見
	事業開始直後にすぎなみ協働プラザの方が和田で活動する方を「大原さんち」に連れてきてくれました。その場でなにか始めようとなったわけではないのですが、その場に来てくれた方一人一人とそれ以降つながりができ、今回の事業に大きな成果をもたらしてくれました。人と人とのつながり、が全ての始まりなのだ、と実感しています。

杉並区長寿応援ファンド助成活動報告書(平成27年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 多世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	私にも出来る、ちょこっと支え合い事業(ほっとつながりサポート)		
団体名	特定非営利活動法人 竹箒の会 (平成 12 年 8 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	736,505 円		
助成額(当初交付)	748,000 円	助成額(決算)	707,992 円
活動目的			

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>①毎月1回の高井戸団地内集会所でのふれあい交流会(高井戸団地内集会所) 4月24日、5月22日、6月26日、7月24日、8月28日、9月25日、10月23日、12月25日、1月22日、2月26日、3月25日 歌、ちょこっと体操、お楽しみ映画界など、毎回20名～30名程度の集客。</p> <p>②ブレイン会議(ゆうゆう高井戸西館・高井戸団地内集会所) 事業推進となるメンバーによる企画推進会議 メンバー:高井戸団地自治会長、富士見ヶ丘町会長、高齢者クラブむつみ会会長、ケア24地域活動担当、竹箒の会 6月26日、7月15日、8月25日、11月30日、1月5日、2月26日</p> <p>③周知活動 7月1日区報掲載時 活動メンバー募集 活動メンバー募集のためのチラシ作成・配布・掲示(ケア24、自治会、町会、ゆうゆう館等用)2000部</p> <p>④ボランティア活動希望メンバー(約30名)による打ち合わせ会議(高井戸団地内集会所) 7月15日 第一回 活動の趣旨・今後の展開等の説明 各自希望の活動を含めた自己紹介等で交流を図る(26名) ※その際Jcom取材有。7月16日放映 8月25日 第二回 活動メンバーによる打ち合わせ会(高井戸団地内集会所) 活動のための課題・具体的な活動エリア検討、活動のための研修内容等検討会(25名) まずボランティア活動のための基礎講座を学習したいとの希望により、次回はその研修を行う。 時期:9月～10月(講師の都合により検討)講師:浴風会、ケア24などに依頼⇒10月2日、9日実施 (そもそもボランティアとは、個人情報の取り扱い等)</p> <p>⑤活動メンバーによる企画推進打ち合わせ会(ゆうゆう高井戸西館) 6月25日、7月23日、8月27日、9月24日、1月5日、1月28日、2月25日 活動内容検討、ほか 活動推進のための打合せ</p> <p>⑥ボランティアメンバー活動のための研修プログラム実施(会場:高井戸団地第2. 第3集会所 ゆうゆう高井戸西館) ・ボランティア基礎講座 10月2日、10月9日(個人情報勉強会21名、ボランティア基礎講座19名) ・先輩団体に学ぶ 11月21日(三鷹いきいきプラス、困った時のSOS12名) 11月25日(シルバー人材センター孫の手事業18名) ・認知症について学ぶ 1月15日(23名)、29日(21名)(浴風会病院 ケア24高井戸) ・コミュニケーション研修 12月2日(16名)、9日(17名)、16日(18名)(キャリアカウンセラー・法林孝子) ・清掃研修 1月8日(18名)、22日(12名)、29日(11名)、2月5日(12名)、12日(11名)(響城れい・藤澤田鶴子) ・読み書き支援研修 2月18、19、20日(13名)(大日本活字文化協会・元国会図書館館長・富田美樹子) ・パソコン・タブレット・スマホ研修 2月17日、21日、24日、28日、3月2日、6日、9日、13日、16日、20日、24日、27日(各回8名～9名)(竹箒の会PCモバイルインストラクター陣) ・日常生活サポート研修(高齢者体験・車いす体験) 3月11日(16名)・18日(15名)(ドジ亀・木村慶一) ・カウンセリング・傾聴研修 3月7日(11名)、8日(13名)、14日(11名)、15日(13名)(産業カウンセラー・岩田優子)</p> <p>⑦広報周知活動 2月～ パンフレット配布(富士見ヶ丘町会・久我山1丁目町会回覧板、でんごん君、町会掲示板に掲示、浴風会ケアマネージャー・安心協力員、ケア24高井戸、ケア24久我山、杉並社協等に配布。南陽園・ケアハウス・都営高井戸団地に戸別配布 計約5000部)</p> <p>⑧支え合い事業 2月より開始。実績としてはまだ11件(簡易家具組み立て2件、買い物支援3件、買い物同行1件、犬の散歩1件、家庭内清掃2件、話し相手2件) 今後再度のパンフレット配布を行いつつ地域での理解を深める努力をすると同時に、ご利用いただいた方の口コミでの広がり期待。</p>
------------------	---

活動名	私にも出来る、ちょこっと支え合い事業(ほっとつながりサポート)
-----	---------------------------------

2 実施活動の効果・成果

* 長寿応援ファンド助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>当会(竹箒の会)して、ゆうゆう館を預かっている団体との認識は皆様にお持ちいただいておりますが、今回の事業で、ケア24高井戸、富士見町会、都営高井戸団地自治会、むつみ会(高齢者クラブ)等の地元での活動団体とより一層親しく情報交換をし、連携が取れるようになりました。</p> <p>また今までゆうゆう館をご利用いただいていた方々からもボランティアのお申し出、あるいは逆に仕事を頼みたいとのお声も寄せられ、単にゆうゆう館受託団体というところから一歩踏み出して一層地域に溶け込んでいきかけになりました。</p>
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>課題:活動のための研修等の経費をいかに捻出するかが大きな課題です。また広く周知し活動を認識していただくための活動を根気強くやっていく必要があると考えています。まずは知っていただくことが最重要事項と考えています。</p> <p>活動予定:来年度以降も、同じペースで月1回(第4金曜日)に情報交換会を持つことで、相互の意思疎通を保ちつつ活動していくこととしております。その折に適宜研修も行き、会員のレベルアップを図っていきます。4月は皆様のご希望で車いす体験を行う予定です。</p> <p>またチラシ配布もすでに行っていますが、繰り返しの配布が必要との認識を持っており、適切は時期を見てくりかえしの配布、町会回覧板などの周知活動を行っていくこととしております。</p> <p>気持ちとしては一回ごりよういただいた方からの口コミも重要なことと考えており、まず最初の印象をよくしていただくため事務局対応にも気を付けていくつもりです。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	長寿応援ファンド助成金	748,000	707,992 東京しごとセンターからのアドバイス料を計上しておりましたが、辞退されました。
	団体負担金		17,313
	活動収入	24,000	3,400 家具組み立て、買い物支援、買い物同行、犬の散歩、家庭内清掃、話し相手 3月末時点で計11件
	その他の収入	15,000	7,800
	計	787,000	736,505

活動名	も出来る、ちよこっと支え合い事業(ほっとつながりサポ
-----	----------------------------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等	575,000	534,992	①個人情報勉強会(浴風会)15000②先輩団体に学ぶ(困った時のSOS・三鷹いきいきプラス)20000③認知症について(浴風会病院)20000④コミュニケーション講座74992⑤清掃研修(響城)30000・(藤澤)60000⑥読み書き支援(大日本活字文化協会)45000⑦高齢者障害者体験30000⑧傾聴・カウンセリング研修60000⑨パソコン・スマホ・タブレット研修180000
			うち 助成額 534,992	
	消耗品費	24,800	24,899	登録証作成備品一式・活動のための備品・印刷用紙・インク等 (アスクル注文分21283円3月末締め、4月支払い(納品書あり))
			うち 助成額 24,800	
	旅費・交通費	35,000	36,374	講師交渉のための実質交通費、企画のための会議参加活動費
			うち 助成額 20,000	
	印刷費	120,000	120,000	
			うち 助成額 120,000	
	通信運搬費	8,200	20,240	
		うち 助成額 8,200		
使用料・賃借料			うち 助成額	
備品費			うち 助成額	
その他の経費	24,000		うち 助成額	
計	787,000	736,505	執行率 (決算額/予算額) 93.6%	
		うち 助成額 707,992	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

活動名	私にも出来る、ちょこっと支え合い事業(ほっとつながりサポート)
-----	---------------------------------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗か。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。
	高井戸団地自治会、町会、浴風会(ケア24)等から「自分にもできることがあると思っているのに、活動の場所が見つからない人がたくさんいるので、あんしん協力員の人たちに紹介したい」「地域のために自分の力を活かしたい」との声が多く寄せられたと同時に、「具体的にどんなことをしてもらえるか」「買い物に行ってもらえるか」「ちょっとした組み立てをってもらえるか」「犬も散歩に行ってほしい」など多くの質問・要望も寄せられている。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
地域の方々との活動の場を創出できたこと、また、反対に手助けがほしいと思っていた方々にリーズナブルな価格でサービスを提供できる体制ができ「相互の支え合い」風土が生まれそうなこと。まだまだ小さな一歩ですが、今後につながる体制ができたと思います。	
問7 ファンド助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
一人一人の思いを、組織的に主役できたことが大きいと思います。「長寿応援ファンド」という杉並ブランドが付いたことで皆様からの信用が生まれ、参加していただきやすくなったと思います。	
その他	問8 自由意見
	なかなか1年で定着するものではないと初めから思っておりましたので、次年度、まったくの自主活動となるとなかなか厳しいものがあります。社協の補助金申請をしてありますが、なかなか完全自立というところに届くには時間がかかりそうです。地道な努力を続けていくしかないと思っていてみんなで気持ちをき締めています。

活動名	杉並ポール歩きの会・歩行応援活動 ーあーの頃の歩きをもういちどー
-----	-------------------------------------

2 実施活動の効果・成果

* 長寿応援ファンド助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>杉並ポール歩きの会の歩行基礎組は、当団体が得意とするインターネットによる募集ではなかなか集まらないという問題があって、助成金を活用して新聞折込を会場の近隣で行うこととした。基礎組対象者は歩行の制約から、近隣で開催される会でないことと参加しようとしていないこと、また高齢者が多いのでネットユーザーが少なく募集方法に限界があったためである。</p> <p>助成金を活用して、9月開催分から毎月、新聞折込チラシの作成と配布を行った。それにより、参加者数が伸び、従来募集しにくかった基礎組の参加者を多く獲得することができるようになった。すなわち4～7月の基礎組申込者数は平均6人強だったのが、9月～2月の平均は約20人と大幅に増加した。本年2月の会には基礎組は最多の申込み30人に達した。(風邪などによるキャンセルが8人出たので実際の参加者は22人)</p> <p>基礎組参加者の多くは、60歳代～80歳代の高齢者で、ポール歩きに関心を持っていたものの、従来行われていたウォーキングの会やノルディックウォーキングの体験会は足の元気な人が行くイメージで敷居が高く、かといってデイサービスに行くような要介護段階にも達していないという“谷間”にいる人たちであった。具体的には、時速3km以下のようなゆったりしたペースであれば杖無しで2km以上続けて歩けるような人たちである。</p> <p>その人たちは、ポールを持つことにより、転倒を恐れず、よい姿勢で歩幅も広げて歩けるようになることを実感し、継続参加希望者が続出した。当団体としても経過観察をする意義も大きいと考え、11月以降2月までは会場を高井戸に固定して開催することとした。</p>
-------	---

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>上記のような“谷間”層が広範に存在することを本活動を通じて実感した。その層が要介護に移行するのを食い止める意義は非常に大きいと考える。一民間団体による取り組みには限界があり、自治体など公的な組織による取り組みを期待すると同時に、さまざまな団体・グループに対して担い手となるよう呼びかけを行い、当団体としては運営ノウハウの供与や講師の紹介等を行っていききたい。そうして、区内各所でポール歩きを習得する機会が得られるようになれば、それは「杉並モデル」として全国から先進例として注目を浴びることになるだろう。</p> <p>当組織としては、今後も杉並ポール歩きの会として活動を継続していく。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳	
収入	長寿応援ファンド助成金	577,000	577,000	
	団体負担金	18,040	77,763	自己資金(現金)
	活動収入	127,000	111,000	参加費@1000円×94人 ポールレンタル料 @500円×34人
	その他の収入			
	計	722,040	765,763	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	杉並ボール歩きの会・歩行応援活動 ――あの頃の歩きをもういちど――
-----	--------------------------------------

費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
		うち 助成額		
謝礼金等	198,000	246,000	138,000	[助成対象] 体験会講師料 @6,000円×6回=36,000円 講演講師料 @100,000円×1回=100,000円 @80,000円×1=80,000円 合計216,000円 [助成対象外] 体験会講師料 @5,000円×6回=30,000円 [増加理由]講演講師の講演料を市場価格を考慮して設定した。
消耗品費				
旅費・交通費	40,680	12,000		@1000円×12人・回=12,000円 [減少理由]支給対象を区外講師に限って、一律交通費補助としたこと。講演講師には交通費を払わないこととしたこと。
印刷費	136,680	158,040	136,680	チラシ製作費 5種類計45,360円(32,400円、2,700円、3,240円、5,400円、1620円) チラシ印刷費 5種類計112,680円(14,500枚21,620円、14,000枚21,120円、500枚1,980円、30,000枚39,760円、23,000枚28,200円) [増加理由]チラシは当初作成後は一部修正で済むと見込んだが実際には2回目以降も手間を要した。
通信運搬費				
使用料・賃借料	30,200	77,200	30,200	集会室使用料 6回分合計 27,200円 ホール使用料 1回分 50,000円 [増加理由] 予定の会場の空きがなかったことがあったこと、想定より参加者数が多くなったこと
備品費				
その他の経費	316,480	272,523	272,160	チラシポスティング代 4回合計272,523円(8月14,000枚47,930円、9月13500枚46219円、10月30,000枚99085円、12月22,800枚79,280円)
計	722,040	765,763	577,040	執行率 (決算額/予算額) 106.1% 予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 2本のポールで歩く運藤に関心を持ちながら、従来機会を見いだせなかった人が、チラシを見て申し込んでくれた例がたいへん多い。潜在的なニーズがあることをおおいに実感した。参加後の満足度も非常に高い。すなわち、正しい姿勢で安定的に歩ける方法や、ポールを使ったストレッチを覚えて帰れるというだけでなく、外に出る機会を得て、ほかの人たちと笑顔でコミュニケーションを交わすことができたことも満足度につながっている。ただし、事例・モデルとして地域全体に向けたデモンストレーションとなるという点についてはもっと大きな力を持ちたかった。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。
	杉並区内外でウォーキングの会を運営している団体の幹部が体験に来てくれた。ウォーキングの団体は、参加者の高齢化により、通常ペースでの参加がむずかしくなってきた参加者が増えていることなどからポールウォーキングに関心を持ってくれた。また、都内の他の区で介護予防事業としてポールウォーキングを取り入れている団体の責任者も体験参加。彼らからは、歩行能力による組分け運営、きめこまかな指導者体制などについて評価をいただいた。また、参加者が明るく生き生きとした表情で取り組んでいる様子が印象的であると声をよく聞いた。ただし、健脚組と異なり、基礎組では参加者から指導者になろうという意識を抱く人は残念ながら出なかった。
問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。	
区民の介護予防について、従来の介護施設等のサービスや事業でカバーしきれない予備軍の層が自らの歩行を改善・維持できる可能性をおおいに示した。ただし、実際に対象として体験してもらった人数は区全体から見れば少数なので、官民さまざまな組織等が担い手になっていくことをおおいに期待したい。その活動のモデルを示したという意味で、ささやかながら地域貢献できたと認識している。	
問7 ファンド助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
体験会会場に徒歩で来られる小中学校区程度の範囲に密にチラシをまいて募集することができたのはたいへん大きい。実際には思い切って参加する人は限られているが、少なくとも多くの住民への広報にはなり、知名度と効果についての理解が多少とも広がったと思われる。また、NPO法人みんなの元気学校の名称の宣伝にもなった。	
その他	問8 自由意見
	インターネットによる広範な広報を得意とする当団体にとって、地域密着の体験を持てたこと、特に高齢者との接触・交流という貴重な経験を持てたことは、助成金をいただいたおかげであり、心から感謝したい。

杉並区長寿応援ファンド助成活動報告書(平成27年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 多世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	商店街の魅力発見！絵日記&写真コンテスト事業		
団体名	特定非営利活動法人ゆるゆるma～ma (平成 23 年 2 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	661,987 円		
助成額(当初交付)	790,000 円	助成額(決算)	571,236 円
活動目的	日々の子育てサロン事業やその他の活動を通じて、地域が安全安心、子供の健やかな成長、地域の魅力向上、住みやすいまちづくりを目指すためには、地元の商店街との連携が重要であると感じている。また新しく流入した若いファミリー層は、地域とのつながりが希薄になりがちで、地域と交流するきっかけ作りとなる機会を提供することで、地域の魅力が向上し、誰もが住みやすい街づくりを目指すことを目的とする。		

1 活動の実施状況

* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

実 施 状 況	<p>【夏休み絵日記コンテスト】</p> <p>■平成27年7月20日～平成27年8月31日まで小学生までの子ども達を対象にした絵日記コンテストを開催した。</p> <p><広報活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4チラシのチラシ20,000枚を制作し、うち10,000枚は商店街のお店や町会などを通じて手配りし、10,000枚は7月30日に新聞折込を実施した。 ・A3サイズのポスターを200枚制作し、商店街の各店舗や町内会の掲示板等に掲示した。 ・応募用紙を1000枚用意し、商店街の各店舗などに設置した。応募箱も商店会の店舗から設置協力を得た。 ・事業専用のHP(http://www.yurucon.tokyo/)を立ち上げたほか、Facebookでコンテスト開催を周知した。 <p><応募状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募総数:18名 <p><審査・表彰></p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査については、応募数が少なかったため、商店会の役員で審査を行った。 ・10月30日に商店会が実施したハロウィンイベントの会場にて表彰式を行った。
	<p>【写真コンテスト】</p> <p>■平成27年11月1日～平成28年1月11日まで地域住民対象の写真コンテスト(フォトコンテスト)を開催した。</p> <p><広報活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4サイズのチラシを20,000枚制作し、うち5,000枚は商店街のお店や町会を通じて手配りし、15,000枚は11月30日に新聞折込を実施した。 ・事業専用のHP(http://www.yurucon.tokyo/)やFacebookのほか、写真コンテスト情報サイト5か所にも告知を掲載した。 ・高円寺経済新聞で地域のニュースとして取り上げられた。http://koenji.keizai.biz/headline/371/ ・Jcomの取材を受け、コンテスト実施の告知と商店街内の数店舗に取材し、平成27年12月に放送された。 <p><応募状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募総数:23作品 <p><審査・表彰></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京工芸大学写真学科准教授の上田耕一郎氏を審査委員長とし、商店会関係者を交えて審査を行った。 ・3月19日に表彰式を実施し、Jcomの追加取材を受けた。

2 実施活動の効果・成果

* 長寿応援ファンド助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・普段何気なく通ったり、買い物したり、食事をしたりするだけの地域の商店街を題材として、絵日記を書いたり、写真を撮ったりする機会を提供することを通じて、商店街の魅力を再発見してもらうきっかけ作りができた。 ・コンテストを通じて、地域の方、商店街、それぞれのコミュニケーションを深めることができた。 ・Jcomや地域情報サイト等で取りあげられたことで、多くの方々に商店街の活動を注目してもらうことができた。
-------	---

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にとっても、商店街にとっても、初めての取組であったため、主旨や応募方法などを理解してもらうのに苦慮した。 ・商店街の魅力を発見という限定的なテーマに絞りすぎてしまったことや、周知の期間が不十分であったこともあり、応募総数が少なかった。 ・絵日記コンテストでは、告知期間が夏休みになってしまい、学校の連絡網を使うことができなかった。 ・応募総数を増やすためには、賞品の魅力が不十分であったと感じている。 <p><翌年度以降の活動予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店会からもこのコンテストは高評価であったため、商店会はもちろんのこと、地元企業・団体等から寄付を募り、継続していく。 ・商店街の各店舗との連携をより深めるために、協働で住民向けのワークショップ等を開催し、商店街の魅力を発信していく。

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	長寿応援ファンド助成金	790,000	571,236	
	団体負担金		30,751	消耗品費@5,751、賞品(商品券)@25,000
	活動収入			
	その他の収入	140,000	60,000	協賛金
	計	930,000	661,987	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	商店街の魅力発見！絵日記&写真コンテスト事業
-----	------------------------

費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
		うち 助成額		
謝礼金等	180,000	30,000	30,000	【絵日記コンテスト】 応募者数が少なかったため、審査は商店会役員で行った。 【写真コンテスト】 審査員謝礼@30,000円×1名 応募者が少なかったため、有識者審査委員は1名とし、他3名は商店会役員で審査を行った。
消耗品費		5,751		消耗品費(応募box作成、PRパネル、表彰式飾りなど)
旅費 ・交通費				
印刷費	250,000	243,496	243,496	【絵日記コンテスト】 A3ポスター印刷片面カラー@138,8×200枚、 A4チラシ片面カラー@3,7×20000枚、 A4応募用紙印刷両面モノクロ@9, 2×1000枚 【写真コンテスト】 A3ポスター印刷A3片面カラー@92, 5×200枚、 A4チラシ印刷両面カラー&モノクロ@4, 8×20000枚
通信運搬費				
使用料・賃借料				
備品費				
その他の経費	500,000	382,740	297,740	【絵日記コンテスト】新聞折込@3, 30×10,000枚 【写真コンテスト】新聞折込@3, 30×15,000枚 手数料@4,000×2回 【入賞者賞金】 杉並商品券 絵日記(30,000円分) 写真(55,000円) 【ホームページ構築・制作費用】 @200,000×一式
計	930,000	661,987		執行率 (決算額/予算額) 71.2%
		うち 助成額	571,236	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input checked="" type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 ・地域の商店街との連携を深めることができた。 ・商店街のことをより地域の人に知ってもらいきっかけ作りができた。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 参加者の声・今まで知らなかった(商店街の)お店の魅力を知ることができた。 ・もっとより地域のお店を知りたいと思った。 ・いただいた賞品で商店街に買い物に来たい。 支援者より ・審査員の依頼について、地元の女子美術大学にご協力頂き、東京工芸大学の准教授をご紹介頂くことができた。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
・地域の商店街の活性化に寄与できた。(Jcomの取材などで店舗の「見られる」という意識が強くなった) ・商店街の各店舗が地域の人と触れ合う機会を提供できた。 ・地域の人が地元の商店街の魅力を再発見してもらおう機会を提供できた。	
その他	問7 ファンド助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
	・今までになかった新しい取組を行うきっかけ作りができたことにより今後の商店街活性化につなげることができた。 ・空き店舗が増えていく中で、周りから活気がない商店街だと見られていたが、この事業をきっかけに商店会が活性化に向けて様々なことに取り組んでいること(冊子作成やLED街灯の設置、ハロウィンパレードなど)を周知することができた。 ・地域とより結び付く活動ができた。
問8 自由意見	

杉並区長寿応援ファンド助成活動報告書(平成27年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 多世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	富士見ヶ丘駅地下通路におけるコミュニティ育成の場づくり		
団体名	富士見丘町会 (昭和 44 年 4 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	700,000 円		
助成額(当初交付)	712,000 円	助成額(決算)	700,000 円
活動目的	京王電鉄(株)井の頭線富士見ヶ丘駅の地下自由通路は、開かずの踏切対策として設置された地下自由通路でした。無機質で殺風景な状態から地域の活性化の為に有効活用したく、通路壁面に掲示板を設置し地域、世代を超えた繋がりを基に展開し活性化と防犯対策にも寄与できると考えた。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・名称を「つなぐ プロムナード・富士見丘」と設定。 ・長寿応援ファンド助成決定後即活動を進め、夏ごろから掲示板運用開始予定だったが、地下通路の利用許可について京王電鉄(株)との最終調整に時間を要した。 ・11月9日 京王電鉄(株)と掲示板製作の打ち合わせ開始 ・12月2日 杉並区、京王電鉄(株)が井の頭線富士見ヶ丘駅地下自由通路の一部使用に係る協定書を締結。その後杉並区と富士見丘町会間で協定書を締結。 ・1月14日 井の頭線富士見ヶ丘駅地下通路に掲示板完成。 ・第1回展示内容について、久我山小学校生徒と浴風会のお年寄りの方の絵手紙コラボを企画。 ・1月29日 杉並区、京王電鉄(株)、近隣小中学校、社会福祉法人浴風会、高井戸警察署、町会役員、計25名参加によるオープンセレモニー開催。 ・2月20日 展示開始
	<p>当初計画では8月から掲示板運用開始予定だったが、上記のとおり地下通路の使用について京王電鉄(株)との調整に時間を要し掲示板運用開始が平成28年2月となってしまった。</p>

活動名	富士見ヶ丘駅地下通路におけるコミュニティ育成の場づくり
-----	-----------------------------

2 実施活動の効果・成果

* 長寿応援ファンド助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>名称を「つなぐ プロムナード・富士見丘」としてオープンしたのが、平成28年1月29日。効果、成果については期間が短くこれからと思いますが、既に町会の回覧などで知られていたことあつてか、人通りが増え、作品の出来栄えにお褒めの言葉を頂戴したり、次回が楽しみのお言葉も頂戴した。</p>
-------	---

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>展示作品を出していただける団体、活動グループの調整。</p> <p>掲示板の数が少なく展示期間の調整が難しくなる。</p> <p>掲示板の厚みがなく、紙一枚物しか掲示できない。</p> <p>展示だけでなく、地域の安全安心や地域の交流の場としての役立て方。</p> <p>より多くの地域の方にお出でいただくための施策の検討。</p> <p>作品展示の活動は心配していないが調整が大変となりそう。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	長寿応援ファンド助成金	712,000	700,000	掲示板製作代(取付工事代含む)
	団体負担金	800		
	活動収入			
	その他の収入			
	計	712,800	700,000	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等		うち 助成額	
	消耗品費		うち 助成額	
	旅費 ・交通費		うち 助成額	
	印刷費		うち 助成額	
	通信運搬費		うち 助成額	
	使用料・賃借料		うち 助成額	
	備品費	518,400	518,400 うち 助成額 518,400	掲示板4面分
	その他の経費	194,400	181,600 うち 助成額 181,600	現地調査費 施工費 諸経費
	計	712,800	700,000 うち 助成額 700,000	執行率 (決算額/予算額) 98.2% 予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

活動名	富士見ヶ丘駅地下通路におけるコミュニティ育成の場づくり
-----	-----------------------------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。 掲示板設置場所(地下通路)の使用について京王電鉄(株)との調整が、予定より時間を要した。使用についての協定締結後は運用開始までスムーズに推移できた。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 掲示板設置まで予定より時間がかかった。 活動開始後は満足の行く実施効果が現れつつある。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗か。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 初回の展示は小学生と浴風会様との年齢差を超えた絵手紙のコラボで見にこられる方が多くなり、評価も上がり、次回の展示を楽しみにしておられる方が多い。 作品提供者も出てきておりうれしい。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
地下通路を通る方が増えたこと 又、地域の方の生の声が聞こえて来ていること 展示して1ヶ月程ですので、これからと思う。 必ず地域に浸透、貢献して行くと考えています。	
その他	問7 ファンド助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
	町会役員の結束がより強まったこと。 町会内に多くの自主グループがあり、作品提供団体も出てきている。
問8 自由意見	長寿応援ファンド助成をいただき大変感謝しております。

杉並区長寿応援ファンド助成活動報告書(平成27年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 多世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	高齢者向け健康エアロビクス教室		
団体名	ラビアンローズ (平成 17 年 4 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	311,896 円		
助成額(当初交付)	307,000 円	助成額(決算)	292,196 円
活動目的	高齢者の健康維持・増進のため		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>平成27年7月21日 「シニアのための健康エアロビクス」 産業商工会館 77名参加</p> <p>平成27年11月13日 「スキルアップ講習会」 一般にも開放・西荻南区民集会所 28名参加</p> <p>平成28年2月18日 「やってトライ健康エアロビクス」 西荻地域区民センター 95名</p>
	当初計画からの変更点
	会場確保の都合から、当初予定から日程を変更した

活動名	シニアのための健康エアロビクス
-----	-----------------

2 実施活動の効果・成果

* 長寿応援ファンド助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>イベントを行う事で広く皆様に周知できる。</p> <p>参加者の要望が増え、教室の増強をおこなうこととなった。</p> <p>運動する気持ちよさや仲間と触れ合う楽しさを実感してもらい、一人暮らしの高齢者にも有意義である。</p> <p>一人暮らしの参加者が増えた。</p> <p>プロの講師に依頼しスキルアップ講座を行うことでインストラクターの育成が出来た。</p>
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>後継者の育成を図るため2~3年に1回はインストラクター養成講座を開き将来の長い期間にわたり活動できるようにしたい。阿佐ヶ谷方面が開かれていないので手薄の地域にも広げたい。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	長寿応援ファンド助成金	363,000	292,196	
	団体負担金	37,280		
	活動収入	17,250	19,700	活動参加費
	その他の収入			
	計	417,530	311,896	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	シニアのための健康エアロビクス
-----	-----------------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等	30,000	23,000	講師の変更による支出減(鈴木孝一さんから杉並区体育指導委員の渡邊 ひろこさんに)
			うち 助成額 23,000	
	消耗品費	31,500	23,011	
			うち 助成額 23,011	
	旅費・交通費	16,000	31,000	インストラクター交通費 イベントでの支援インストラクター増員による増額。
			うち 助成額 16,000	
	印刷費	7,000	9,595	イベント用チラシ3回分 その他印刷代
			うち 助成額 7,000	
	通信運搬費	5,000	2,050	切手・郵送代
		うち 助成額 2,050		
使用料・賃借料	20,000	18,100	産業商工会館 ¥12,300 西荻南集会所 ¥3,800 西荻地域区民センター ¥2,000	
		うち 助成額 18,100		
備品費	240,000	197,284	オーディオ機器 7台分 ¥180,894 無線機器 1台 ¥15,040 録音コード ¥1,350	
		うち 助成額 196,000		
その他の経費	68,030	7,856	ユニフォーム代は色、枚数、サイズが各自違うので自己負担となった。イベント用保険代・水分 ¥7,856	
		うち 助成額 7,035		
計	417,530	311,896	執行率 (決算額/予算額) 74.7%	
		うち 助成額 292,196	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

活動名	シニアのための健康エアロビクス教室
-----	-------------------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	3つの新規の活動を計画ど通りに実施できた。7月21日「シニアのための健康エアロビクス」産業会館にて 77名参加 11月13日「スキルアップ講習会」西荻南区民集会所 28名参加 H28年 2月18日「やってトライ健康エアロビクス」西荻地域区民センター 95名参加
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。
	もっと教室の数をふやして欲しい
その他	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	教室に参加することで近隣のかたとふれあう事の楽しさを実感していただきお互いに助け合うようになりました。
	イベントを行う事で、広く皆様に周知できる。参加者からの要望で教室の増強を行ないたいです。
問8 自由意見	助成金有難うございました。今回ファンドをいただくことで会員同士が結束し責任感とやる気がさらに増してきたと思います。この経験を将来にいかし健康エアロビクス教室の魅力を皆様にお伝えできたらと思います。

